

細見美術館

細見コレクションの漆芸

根来

— 朱と黒のかたち —



2022
2.10^[木] — 4.10^[日]

開館時間 = 午前10時 — 午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 = 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

入館料 = 一般1,300円 学生1,000円

主催 = 細見美術館 京都新聞

会場 = 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更
する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

《亀甲文瓶子》室町時代

N E G O R O

Red and Black Lacquerware from the Hosomi Collection

NEGORO

Red and Black Lacquerware from the Hosomi Collection

細見コレクションの漆芸

根来

— 朱と黒のかたち —

木の強さとしなやかさ、
漆の鮮やかさと渋味、
使い込まれた美のかたち。

実用から生まれた「根来」は、木と漆の特性を
最もよく活かした器といえます。

中世に紀州・根来寺で作られた飲食器や什器
に始まるとされる根来塗は、用途に適した簡潔
なフォルム、長年の使用に耐えうる堅牢な造り、
明快な色彩（朱と黒）が特徴です。

漆を塗り重ねた丈夫な器の表面は、経年によつて上塗の朱漆が擦れて中塗の黒漆が現れ、
味わい深い塗肌となります。近代には、この塗肌の
景色に魅せられた数寄者たちによって「根来」
は華麗な蒔絵とは対極を成す漆芸の美として
注目を集めることとなりました。

本展では、細見コレクションの創始者である
初代古香庵（1901〜79）が、自ら『根来
の美』（1966年）を著すほど情熱を傾けて
蒐集した「根来」を一堂に紹介します。

題字…細見古香庵箱書より



高坏 平安後期～鎌倉前期



湯桶 室町時代



重要美術品 菜桶 徳治2年(1307)

SNS 優待のご案内

「#根来展」をつけてTwitterもしくはInstagramに投稿いただくと、
優待料金でご入館いただけます！（一般 1,300円→1,200円）



*受付にて投稿画面をご提示ください。
*他の優待との併用はできません。

次回展予告

琳派展 22
つながる琳派スピリット 神坂雪佳
2022年4月29日(金・祝)～6月19日(日)



交通のご案内

- ・市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分
 - ・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分
 - ・地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。

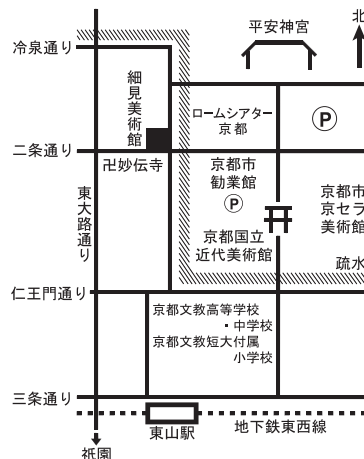
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>



細見美術館



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。

また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。